



清浄の気に満つ新宮宇治橋

道 神 青

揮 毫
中野庁長

第3号

北 海 道
神道青年協議会
平成 6 年 4 月 15 日

ご挨拶



北海道神道青年協議会

会 長 芦 原 高 穂

昨年の四月七日、当会定例総会におきまして、北方前会長の後任に選出され、会員各位は勿論、OB諸先輩のご支援を頂戴し、恙なくその大任を果たして参りました事を衷心より厚くお礼申し上げます。

昭和二十五年終戦の傷未だ深く厳しい世相は、戦争を知らない世代にとっては想像する事もできない状況の中で、うぶ声を上げてからちようど四十五周年の節目の年を迎えます。

もとより当会は、極めて広い全道神社庁支部管内、十五単位の協議体でありますので、事業活動を行うには難しい面が有りますが、会員相互の研鑽の場として、今後も努力して参りたいと存じます。

昨年は、皇太子殿下御成婚に始まり、第六十一回式年遷宮も無事斎行され、ご同慶に耐えませんが、一方では、稀にみる凶作や西日本の連続的な自然災害の続発等で厳しい一年でありました。

又、昨年発足した細川政権では大東亜戦争を「侵略戦争」とする発言等があり、極めて憂慮すべき状況下で、終戦五十周年の年を迎えようとしております。今後も斯界の中で、次世代を見据えた活動を心掛けて参りたいと存じますので、何卒ご支援ご協力下さいますようお願い申し上げます。

平成五年度 活動報告

平成五年度定例総会

平成五年四月七日、北海道神社庁に於いて北海道神道青年協議会平成五年度定例総会が開催された。午後二時開会、神殿拝礼、国家斉唱、敬神生活綱領に続き、植田副庁長より御祝辞を戴き議事に入った。議長には内田文月会会員が選出され、平成四年度会務報告、同一般・事業会計決算の承認をうけた。引き続き平成五年度事業計画案及一般会計案等承認され、最後に任期満了に伴う役員の改選をへ別記）行い閉会した。

第十二回北海道神社庁杯

第十回北海道神宮杯

争奪野球大会

去る九月二十九日北海道神道青年協議会（芦原高穂会長）では、恒例の北海道神社庁長杯並びに北海道神宮杯争奪の野球大会が札幌市の市営グラウンドを会場に道内から約九十名の会員が参加して開催された。当日は、午前九時三十分、寒風吹き荒ぶなか開会式を終えて単位会別七チームに別れて試合開始。

熱戦の結果、四年連続で後志青年神職会チームが優勝した。順位は次の通り、（敬称略）

優勝 後志青神チーム

準優勝 渡島神青チーム

三位 神宮チーム

四位 文月会チーム

五位 胆振神青チーム

六位 空知宗谷日高混成チーム

七位 上川神青チーム

又、個人表彰は次の通り、

優勝監督賞（後志）板谷一弘

準優勝監督賞（渡島）荒木力弥

最優秀選手賞（後志）鎌田寛記

優秀選手賞 本間公祐、小野ショウ、

上田善久、近藤摩人、

小西雅夫、菅原秀男、

西川充彦、

優秀投手賞 本間清治、藤山宣廣、

赤沢一、谷口了、

黒野容正、丸井芳明、

太田任、

大会終了後市内に会場を移し懇親会が開催。

当会OBや諸先輩の参加も得て、

開会、席上会長挨拶の後、山田神社庁理事の挨拶、中村元会長の音頭で乾杯の宴に入った。

寒い一日で、怪我が心配されたが、幸い一人の事故もなく無事大会を終了することが出来たことは大変有難いことと喜びつつ、又本年は奥尻の北海道南西沖地震や、記録的な冷夏で、神社会を取り巻く情勢も極めて厳しいものがあるが、気を取り直して来春へ希望を繋がんと誓い合っていた。



平成六年度

道神青研修会について

日時 平成六年十月

二十六・二十七日

於 ホテル函館ロイヤル

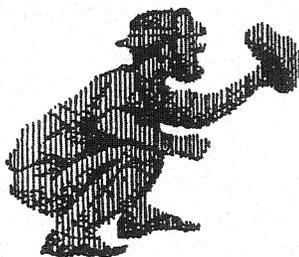
担当 道南支部

講師 國學院大學

教授 三輪昌男先生

演題 未定

詳細は、担当神青からご案内があります。多数のご参加をお願い申し上げます。



北海道神道青年協議会研修会開催

於 帯 広

恒例の当会研修会は、さる平成五年六月二十四日・二十五日の両日に亘り、神社庁研修所主催のもと、十勝青年神職会（山内会長）が担当して恒例の研修会を帯広市の帯広グランドホテルを会場に、北海道内より八十五名の神職が参加して開催された。

研修会では、テーマを『今ノ時空を超える御遷宮』（召し上げれ神宮秘話のフルコース）と題し、最近まで神宮に奉職されていた国学院大学の中西正幸教授が、今秋愈々齋行される式年遷宮について、昭和天皇の御治定をいただき、昭和六十年のミソマ始祭を皮切りに平成元年には宇治橋の渡り始めがあり、作秋の正遷



中西教授の講演

宮が取り行われるにあたり、歴史的な流れと実際の意義について、講義を行ないなかなか伺い知ることのできない遷宮諸祭の歴史と意義について研修を深めた。

過去の式年遷宮が国家の祭祀として行なわれてきたが、前回の第六十回と今回の第六十一回の御遷宮が国民奉賛と言う形で、進められ伝統的な姿から非常に離れた姿である事、その為、天皇陛下の御神宝の天覧等、皇室祭祀としての性格付けでの苦心談等、神社界を取り巻く政教分離等を含め今後の問題点について検討した。

平成五年度道神青 協賛金御礼

多寄神社・神居神社・上土別神社・雨粉神社・中川神社

【札幌】北海道神社庁札幌支部青年神職文月会

【渡島】北海道神社庁道南支部・北海道神社協会

【桧山】北海道神社庁桧山支部
住吉神社・余市神社・岩内神社・水天宮・俱知安神社・竜宮神社・天満宮・小樽稲荷神社・豊足神社・喜茂別神社・潮見ヶ岡神社・高島稲荷神社・琴平神社・狩太神社・真狩神社・京極八幡神社・寿都神社・塩谷神社・美国神社・目名八幡神社・留寿都神社・神恵内厳島神社・小沢神社・仁木神社

【後志】空知青年神職会
上川神社・北海道護国神社・旭川神社・永山神社・富良野神社・土別神社・名寄神社・鷹栖神社・当麻神社・東川神社・愛別神社・美深神社・比布神社・和寒神社・上富良野神社・中富良野神社・下川神社・風連神社・美瑛神社・東神楽神社・大上川神社・神楽神社・剣淵神社・山部神社・

【留萌】留萌神道青年会

【宗谷】宗谷青年神職会

【網走】網走青年神職会

【紋別】紋別神道青年会

【胆振】室蘭八幡宮・中島神社・本輪西神社・樽前山神社・恵比須神社・伊達神社・大白山神社・壮瞥神社・稲荷神社・豊浦神社・刈田神社・湯沢神社・白老神社・追分神社・厚真神社・鷗川神社・早来神社・

【日高】北海道神社庁日高支部

【十勝】十勝青年神職会

【釧路】厳島神社・鳥取神社・三吉神社・昆布森神社・厚岸神社・霧多布神社・川上神社・弟子屈神社・阿寒神社・厳島神社・音別神社・厚岸真竜神社

【根室】根室神道青年会

お納め戴きましたご協賛に對し深く御礼申し上げます
今後とも、変らぬご支援を賜ります様、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

神青協の活動

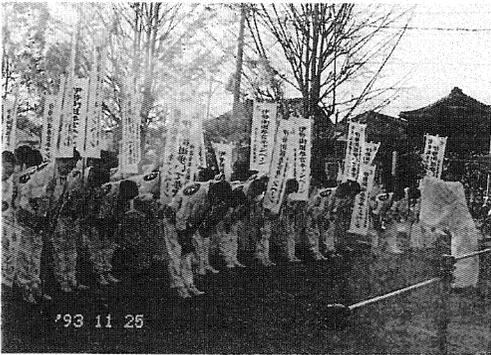
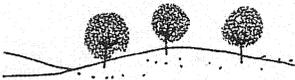
遷宮奉祝

「伊勢街道参宮キャンペーン」

神青協創立四十五周年記念事業の一環として平成四年十一月二十四・二十五日の両日、遷宮奉祝伊勢街道参宮キャンペーンが、全国会員百三十一名（本道は芦原会長以下五名）参加のもとに開催された。



古く「おかげまいり」と称された群衆参宮の様を体感し、広く国民参宮気運の醸成を図る奉祝キャンペーンの実施とともに各単位会から全国の産品を背に担って大御前に奉献し奉祝の誠を捧げるといふ主旨で行なわれた。両日とも好天に恵まれ二十五日には松阪―内宮間約二十七キロを七時間二十分かけて行進した。夕開迫る頃全員意気揚々と宇治橋を渡り、参道の玉砂利が足の裏に響くのを実感しつつ大御前に至り、万感の思いを込めて拝礼した。敢えて歩いての参宮体験は各自各様に極めて思い出に残る記念事業であった。日頃の運動不足を痛感しながらも、この六十一回目の御遷宮の年に祀職としての我々が、敢えて歩いて参宮を体感できた事は、次の御遷宮に向けて日々の御奉仕の中で聴て心の糧となると確信するものである。



平成五年度会務報告

(神青協関係も含む)

〔平成五年〕

四月七日

北海道神道青年会定例総会

(北海道神社庁)

四月二十二日

神道青年全国協議会

第四十五回定例総会 (神社本庁)

五月十三日

青森神青創立四十周年記念式典

道神青より十三名出席 (青森)

五月十九日

北海道神道青年協議会O B会

(札幌)

六月十日

道神青第一回三役会

(札幌諏訪神社)

六月二十四日

〔二十五日〕

道神青平成五年度研修会

(帯広グランドホテル)

六月二十五日

道神青第二回役員会

(帯広グランドホテル)

七月十九日

道神青第二回三役会

神青協創立四十五周年記念式典

去る四月十一日明治記念館に於いて神青協創立四十五周年記念式典が高円宮同妃兩殿下の御台臨のもと盛大にとりおこなわれ記念表彰で佐々木篤美氏、池田清美氏、森田邦義氏の三名の元道神青会長がそれぞれ表彰された。また、翌日行なわれた第四十六回定例総会に於いて左の決議文が採択された。

我ら青年神職は、第四十六回定例総会に当たり、創立四十五周年記念



式典にて賜わった高円宮殿下の「我が国の伝統ある文化を尊び、また、世界の諸民族、社会固有の文化を尊重し、広い視野に立った神青協の活動を推進されたい」とのお言葉を聴いて、会員一丸となって本会創立の主旨に深く思いを致し、己の使命を認識しつつ、内外の激変する情勢に対して、確かな判断力を示して迅速且つ、積極的に対応することを期するものである。



北海道神道青年協議会役員

- 会長 芦原 高穂(上川)
 - 副会長 後藤 正洋(札幌)
 - 副会長 森 泰文(札幌)
 - 副会長 植田 淳一(空知)
 - 事務局長 大西 祥太(空知)
 - 監事 尾形日出麿(後志)
 - 監事 岩崎 寿宣(十勝)
 - 理事 内田 悟(札幌)
 - 理事 藤山 敬廣(道南)
 - 理事 石川 謙司(桧山)
 - 理事 大小島平和(後志)
 - 理事 鎌田 真滋(空知)
 - 理事 鎌田 告人(上川)
 - 理事 柳本 聡(留萌)
 - 理事 佐々木貴教(宗谷)
 - 理事 山田 典孝(網走)
 - 理事 西川 雅文(紋別)
 - 理事 松永 美継(胆振)
 - 理事 酒井 栄幸(日高)
 - 理事 山内 豊一(十勝)
 - 理事 熊谷 正(釧路)
 - 理事 山中 伸行(根室)
- 神青協出向役員・委員
- 地区理事 後藤 正洋(札幌)
 - 指名理事 森 泰文(札幌)
 - 監事 芦原 高穂(上川)
 - 遷宮委員長 北方 幸彦(札幌)
 - 啓蒙委員 田湯 直宣(札幌)
 - 事業委員 星野 昭雄(後志)

(北海道神社庁)

九月二十九日

道神青野球大会(札幌)

九月三十日

道神青第三回役員会

(北海道神社庁)

十月二十五日

道神青第三回三役会

(諏訪神社)

十一月二十四日

十一月二十五日

神青協参宮キャンペーン

(伊勢)

十一月二十九日

道神青第四回三役会

道神青第四回役員会

(北海道神社庁)

二月十八日

道神青第五回三役会

道神青第五回役員会

(旭川神社)

三月八日、九日

神青協神宮研修会(伊勢)

神青協。

平成五年度中央研修会

寒雨に煙る神都伊勢の地で、去る三月八日、九日神道青年全国協議会神宮研修会が全国より三〇〇名(道神青九名)の青年神職結集のもと開催された。あいにく二日間とも雨にたたられたが、六部会に別れての研修・全体講演・翌朝は禊練成と参加者が一同白衣白袴で初心に帰り研修に取り組んだ。基調講演では桜井勝之進皇学館大学理事長が「私の遺言」と思っけて聞いていただきたい」と前置の後、天皇と神宮という題で遷宮が今後に抱える問題点本義を明らかにして提起された。また翌日講演された鎌田純一宮内庁掌典は特に皇室との関係から次回遷宮への思いを語られた。両講師とも雙鑠として闊達なご講演は、日本人の心のふるさととも云える神宮のご遷宮をいにしえのままの本つ姿になんとしても立ち返らせたいという熱い思いで溢れ、その迸りに一同強く心を打たれ、来る第六十二回御遷宮への決意を新たにしました。



神青協事業委員会頒布品

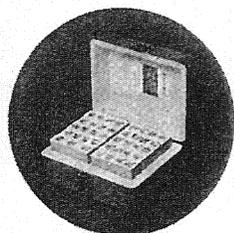
神青協では次の品目を制作・販売致しております。ご注文は神青協事業委員・小樽住吉神社星野禰宜までお申込み下さい。

◆和傘

(白と茶の二種類)
頒価 五、〇〇〇円

◆宮印

祈禱札用祈願名印
家内安全・商売繁盛
開運厄除・社運隆昌
病氣平癒・身体健全
合格祈願・作業安全
心願成就・初宮詣
上質ゴム印・特製木箱入



特製印箱×10点セット
頒価 8,000円
(送料別)

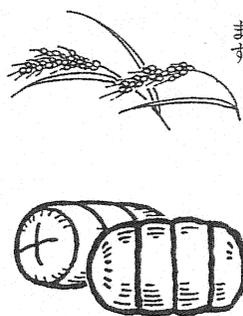
◇近日発売

ビデオ「衣冠」

企画制作神青協事業委員会
限定二、〇〇〇本
販売価格未定(一本七、〇〇〇円前後)

お知らせ

▼道神青四十五周年記念式典を本年十月五日札幌に於いて開催する予定で役員一同準備を行なっております。改めてご案内致しますので多数のご参加をお待ち致しております。



豪雪だった冬も漸く終り、土の香と共に春が巡って御社務愈々ご繁忙の季節となりました。昨年は冷夏から平成の大飢饉と云われる程の冷害に日本中が見舞われ、今年に入っても米不足からヤミ米の横行はは米泥棒と世の中を向いても左を見て毎日米米：景気の落ちこみも重なってそこからナマ臭いキナ臭い便りも聞こえるこの頃ですが、今年こそは豊作の稔多い秋を迎えられ、大神様のご加護のもと日々平安でありますことを願いつつ道通信第三号をお届け致します。
会員の皆様のご活躍をお祈り致します。